

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公表番号】特表2010-527713(P2010-527713A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-509587(P2010-509587)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 B 17/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

創傷を治療するためのデバイスにおいて、

内面を含み、治療空間を形成する、可撓性不透過性材料で形成されたチャンバと、

創傷に機械的応力を及ぼすように形成された複数の構造であって、負圧を通し、前記治療空間内に負圧を分配でき且つ維持できる通路を形成するように形成されており、前記チャンバの前記内面の少なくとも95%を覆い、前記チャンバの前記内面から前記治療空間内に突出した複数の構造と、

前記チャンバに連結された第1端を持ち、前記治療空間への負圧の適用及び治療モダリティの適用からなる群から選択された少なくとも一つを可能にするように前記治療空間と流体連通したチューブとを含む、デバイス。

【請求項2】

請求項1に記載のデバイスにおいて、

前記複数の構造は、前記チャンバの前記内面にチャンネルを形成する所定のパターンをなして配置されている、デバイス。

【請求項3】

請求項1に記載のデバイスにおいて、

前記複数の構造のうちの各構造は、前記内面に対してほぼ垂直な方向で前記治療空間に突出している、デバイス。

【請求項4】

請求項1に記載のデバイスにおいて、

前記構造の各々は、円錐形、角錐形、五角形、六角形、半球形、ドーム形状、ロッド状、側部に丸味がある細長い押縁状、又は側部に角がある細長い押縁状からなる群から選択された形状を有する、デバイス。

【請求項5】

請求項1に記載のデバイスにおいて、

前記複数の構造及び前記チャンバは、単層材料の部分である、デバイス。

【請求項6】

請求項 5 に記載のデバイスにおいて、
前記複数の構造のうちの各構造は半剛性である、デバイス。

【請求項 7】

請求項 5 に記載のデバイスにおいて、更に、
前記チャンバの第 1 開口部を形成するベースを含み、
前記複数の構造、前記チャンバ、及び前記ベースは単層材料の部分である、デバイス。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、更に、
吸引デバイス、流体トラップ、及び排気ポートを含み、前記吸引デバイスは、前記治療空間、前記流体トラップ、及び前記排気ポートと流体連通しており、前記流体トラップは前記吸引デバイスと前記排気ポートとの間に流動学的に位置決めされている、デバイス。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、更に、
楔形状手動ポンプを含み、前記治療空間は、前記楔形状手動ポンプと流体連通している、デバイス。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のデバイスにおいて、
前記チャンバは全体に円筒形であり、肢部の創傷を治療するように形成されている、デバイス。

【請求項 11】

創傷を治療するためのデバイスにおいて、
内面を含み、治療空間を形成する、可撓性不透過性材料で形成されたチャンバと、
創傷に機械的応力を及ぼすように形成された複数の構造であって、負圧を通し、前記治療空間内に負圧を分配でき且つ維持できる通路を形成するように形成されており、前記チャンバの前記内面から前記治療空間内に突出した複数の構造と、を含み、前記複数の構造は、第 1 の構造および第 2 の構造を含み、前記第 1 の構造は、第 1 の高さ寸法を有し、前記第 2 の構造は、第 2 の高さ寸法を有し、前記第 1 の高さ寸法は、前記第 2 の高さ寸法よりも大きく、

前記チャンバに連結された第 1 端を持ち、前記治療空間への負圧の適用及び治療モダリティの適用からなる群から選択された少なくとも一つを可能にするように前記治療空間と流体連通したチューブを更に含む、デバイス。

【請求項 12】

創傷を治療するためのデバイスにおいて、
内面を含み、治療空間を形成する、可撓性不透過性材料で形成されたチャンバと、
創傷に機械的応力を及ぼすように形成された複数の半剛性構造であって、負圧を通し、前記治療空間内に負圧を分配でき且つ維持できる通路を形成するように形成されており、前記チャンバの前記内面から前記治療空間内に突出した半剛性複数の構造と、

前記チャンバに連結された第 1 端を持ち、前記治療空間への負圧の適用及び治療モダリティの適用からなる群から選択された少なくとも一つを可能にするように前記治療空間と流体連通したチューブとを含む、デバイス。